



NProパイル（鋼製杭）

特許
申請中

① 杭の施工誤差に対応。

専用金具を使用することにより、杭の倒れが原因による架台との接合不具合を解消。

② 不陸地に最適。

コンクリート基礎では設置が厳しい傾斜地等の平地でない場所でも施工が可能。

③ 施工が早いため、工期短縮によるコスト削減。

芯出し → 杭打設 → 架台組立と、従来のコンクリート基礎工法に比べ工程が少ないため、トータルコストの削減へとつながります。

④ 軟弱地盤に最適。

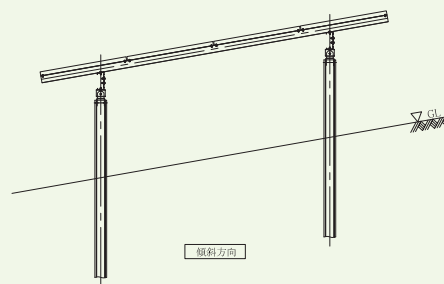
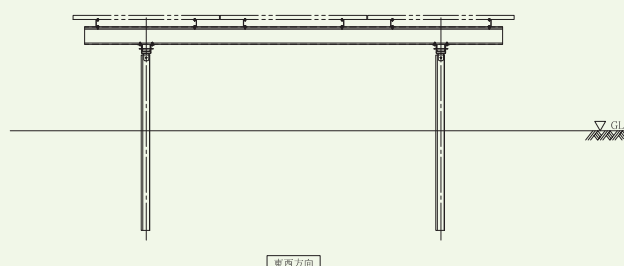
コンクリート基礎では施工が難しいといわれている軟弱地盤にも十分に対応が可能。(施工条件による)※N値 3以上

⑤ 環境への配慮。

撤去後のリサイクルも可能なため、産廃処理費が不要。

⑥ 高品質。

高耐食めっき鋼板を使用しています。



試験風景



試験時施工重機0.20mバックホウ

参考試験データ

2015年7月3日

試験報告書

近畿大学工学部・建築学科 土木関係

以下の試験結果を報告します

試験機の動力試験						
試験機	試験機の種類	打込み長さ	加力方向	加力	試験	結果
1	ヘッド部	2m	鉛直（引抜き）	C-103×80×27×4.5	N3200400	1体
2	ヘッド部	1m	鉛直（引抜き）	C-103×80×27×4.5	N3200400	1体
3	ヘッド部	2m	水平（X方向）	C-103×80×27×4.5	N3200400	1体
4	ヘッド部	1m	水平（X方向）	C-103×80×27×4.5	N3200400	1体
5	ヘッド部	2m	水平（Y方向）	C-103×80×27×4.5	N3200400	1体
6	ヘッド部	1m	水平（Y方向）	C-103×80×27×4.5	N3200400	1体
備考 試験機打込み機の各種動力特性を調査することを目的に、基礎部（砂質土、N値5.3）に、基礎部打込み機による打込み時の打込み（動的垂直抵抗力）の計測及び、打込み終了後の基礎部（鉛直方向・引抜き、水平方向・X・Y）を調査した。水平加力は、基礎部（鉛直方向・引抜き）における水平変位が40mm（変位角1/10）時を計測位置とし、最大加力を実施した。						
使用機器 動力試験機：サンプリング機 TMS-211 (21) 動力試験機：サンプリング機 TMS-211 (21) 水平鉛直動力試験機：サンプリング機 10Hz (1) (10Hz), リーダーセットの計測時間 100sec 変位計：容量 200kN、変位出力 1mV/V (2000・10°/V) ±0.5%、許容誤差 0.1%/100 容量 50kN、変位出力 1mV/V (2000・10°/V) ±0.5%、許容誤差 0.1%/100 レーザー変位計 D1：容量 100mm、分解能 50μm、直線度 0.4%/47.5 電気式変位計 D2：容量 100mm、感度 200V/10°/mm、直線度 0.1%/100						
結果一覧	試験機の種類	打込み長さ	動的垂直抵抗力 (kN)	1打撃での貫入量 (mm)	加力試験	最大加力 (kN)
1	ヘッド部	2m	29.8	2.27	鉛直（引抜き）	7.61
2	ヘッド部	1m	32.6	—	鉛直（引抜き）	—
3	ヘッド部	2m	—	—	水平（X方向）	16.10
4	ヘッド部	1m	—	—	水平（X方向）	11.24
5	ヘッド部	2m	—	—	水平（Y方向）	20.96
6	ヘッド部	1m	—	—	水平（Y方向）	23.46
試験実施日	2015年6月2日					
試験実施者	計画：近畿大学、地盤調査・打込み試験工・新日本建設株式会社					

※1：変位計測機（レーザー変位計）の故障のため計測できず測定不能

※2：養生期間が無く測定不能

施工風景



※ 事前に現場での試験（載荷・引抜等）を行って下さい。